



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 共立メンテナンス

コード番号 9616 URL <http://www.kyoritsugroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 充孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 上田 卓味

TEL 03-5295-7778

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	24,742	7.8	1,079	△17.3	820	△15.0	420	1.0
25年3月期第1四半期	22,957	10.1	1,304	21.5	966	37.0	416	23.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 445百万円 (△7.5%) 25年3月期第1四半期 480百万円 (44.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	30.74	—
25年3月期第1四半期	29.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	116,299	31,233	26.9	2,395.48
25年3月期	122,259	34,782	28.4	2,465.00

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 31,233百万円 25年3月期 34,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	19.00	—	24.00	43.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	21.00	—	22.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,600	9.0	3,550	△2.8	2,950	△2.9	1,600	△1.2	122.71
通期	106,200	6.8	7,100	8.9	6,200	10.7	3,400	6.0	260.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	15,125,582 株	25年3月期	15,125,582 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	2,086,913 株	25年3月期	1,014,894 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	13,662,960 株	25年3月期1Q	14,111,689 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策及び金融政策の期待感による円安、株高の進行など景気回復の兆しはあるものの、世界経済の減速懸念など依然不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間は、主力事業である寮事業において、期初稼働率97.0%（前年比0.5ポイント増）と好調にスタートし、また、ホテル事業につきましても、ドーマーイン（ビジネスホテル）事業、リゾート（リゾートホテル）事業共に、前年同期を上回る稼働率にて好調に推移し、引き続き大きな牽引役となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高24,742百万円（前年同期比7.8%増）となりましたが、寮事業における新規開業費用及び修繕の計画的先行実施による費用等の増加により、営業利益1,079百万円（前年同期比17.3%減）、経常利益820百万円（前年同期比15.0%減）、四半期純利益420百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における利益水準につきましては、概ね当初計画通りであり、過去最高益を更新する通期業績予想に変更はございません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①寮事業

寮事業では、期初稼働率97.0%（前年比0.5ポイント増）と前期を上回り堅調に推移し、6月末現在の稼働契約数は31,132名（前年同期に比べ1,070名増）となりました。しかしながら、当第1四半期連結累計期間においては、前年同期に比べ新入寮生の3月早期入寮の増加及び前年同期に大口の留学生法人契約があり、契約金等の売上が期間比較にて減少したため、寮事業の売上高は微増にとどまっております。この結果、売上高は10,503百万円（前年同期比0.9%増）となり、営業利益につきましては、新規開業費用及び長期展望を見据えた計画的な修繕の先行実施に伴う費用等の増加により、1,168百万円（前年同期比28.6%減）となりました。

②ホテル事業

ドーマーイン事業では、当第1四半期連結累計期間に『天然温泉 茶月の湯ドーマーインEXPRESS掛川』を新規オープンいたしました。また前期オープンの事業所においても認知度の上昇に伴い大幅に稼働率が向上し、全体として前年同期を上回って好調に推移いたしました。

リゾート事業では、当第1四半期連結累計期間において前期に開業した事業所及びリニューアルした事業所にて大幅に稼働率が向上したほか、既存事業所におきましてもきめ細やかな営業が功を奏し、前期を上回る稼働率にて推移いたしました。

この結果、売上高9,717百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益524百万円（前年同期比108.3%増）となり、本格的なリゾートシーズンを前に大幅な増収増益基調を推し進めております。

③総合ビルマネジメント事業

総合ビルマネジメント事業では、前期における所有物件売却に伴う賃貸収入の減少及び建設施工工事部門において受注減少となりました。この結果、売上高2,914百万円（前年同期比5.7%減）、営業損失10百万円（前年同期に比べ2百万円増益）となりました。

④フーズ事業

フーズ事業では、個人消費環境の回復の遅れによる厳しい事業環境が継続しております。この結果、売上高1,246百万円（前年同期比7.5%増）、営業損失45百万円（前年同期に比べ9百万円減益）となりました。

⑤デベロップメント事業

デベロップメント事業では、当第1四半期連結累計期間において、ホテルの開発増加に伴い売上高は増加いたしました。この結果、売上高は1,277百万円（前年同期比123.8%増）となり、営業損失は1百万円（前年同期に比べ15百万円減益）となりました。

⑥その他事業

その他事業は、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、单身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業であります。これらの事業の合計は、売上高1,676百万円（前年同期比29.1%増）、営業損失41百万円（前年同期に比べ6百万円増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、116,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,960百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、85,065百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,411百万円の減少となりました。主な要因は、未払法人税等、前受金の減少などによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、31,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,549百万円の減少となりました。主な要因は、自己株式の取得などによるものであります。

この結果、自己資本比率は26.9%となり、前連結会計年度末に比べ1.5ポイントの減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,622	13,476
受取手形及び売掛金	6,480	4,777
仕掛販売用不動産	914	1,150
販売用不動産	302	126
未成工事支出金	14	75
その他	5,551	5,190
貸倒引当金	△32	△27
流動資産合計	30,852	24,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,276	30,534
土地	24,426	24,430
その他（純額）	4,629	3,222
有形固定資産合計	58,332	58,188
無形固定資産	1,950	1,938
投資その他の資産		
投資有価証券	5,818	5,717
差入保証金	10,745	10,839
敷金	9,063	9,071
その他	5,632	5,911
貸倒引当金	△207	△205
投資その他の資産合計	31,052	31,333
固定資産合計	91,335	91,459
繰延資産	71	69
資産合計	122,259	116,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,174	3,241
短期借入金	14,074	16,260
1年内償還予定の社債	1,150	1,150
未払法人税等	1,528	308
前受金	10,880	9,075
賞与引当金	1,029	282
役員賞与引当金	232	62
完成工事補償引当金	11	11
その他	5,811	6,336
流動負債合計	38,892	36,728
固定負債		
社債	7,450	7,125
長期借入金	34,976	35,123
退職給付引当金	1,201	1,224
役員退職慰労引当金	309	309
その他	4,647	4,554
固定負債合計	48,584	48,336
負債合計	87,476	85,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,136	5,136
資本剰余金	5,943	5,943
利益剰余金	25,675	25,756
自己株式	△1,811	△5,466
株主資本合計	34,943	31,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△198	△182
為替換算調整勘定	37	46
その他の包括利益累計額合計	△160	△135
純資産合計	34,782	31,233
負債純資産合計	122,259	116,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	22,957	24,742
売上原価	18,396	20,218
売上総利益	4,560	4,523
販売費及び一般管理費	3,256	3,444
営業利益	1,304	1,079
営業外収益		
受取利息	25	23
受取配当金	16	20
為替差益	0	25
その他	37	26
営業外収益合計	78	96
営業外費用		
支払利息	323	273
その他	93	80
営業外費用合計	416	354
経常利益	966	820
特別損失		
投資有価証券評価損	139	—
解体撤去費用	—	13
特別損失合計	139	13
税金等調整前四半期純利益	826	807
法人税等	410	387
少数株主損益調整前四半期純利益	416	420
四半期純利益	416	420

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	416	420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	15
為替換算調整勘定	—	9
その他の包括利益合計	64	25
四半期包括利益	480	445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	480	445
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、平成25年5月20日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得及び単元未満株式の買取により、自己株式が3,655百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式が5,466百万円となりました。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,375	8,618	1,883	386	499	21,764	1,193	22,957	—	22,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	22	1,205	772	71	2,102	104	2,207	△2,207	—
計	10,406	8,640	3,089	1,159	570	23,866	1,298	25,164	△2,207	22,957
セグメント利益 又は損失(△)	1,637	251	△13	△36	14	1,852	△47	1,804	△500	1,304

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業(高齢者向け住宅の管理運営事業)、PKP事業(自治体向け業務受託事業)、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△500百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△492百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,463	9,695	1,649	414	945	23,168	1,573	24,742	—	24,742
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	22	1,264	831	332	2,491	102	2,594	△2,594	—
計	10,503	9,717	2,914	1,246	1,277	25,660	1,676	27,336	△2,594	24,742
セグメント利益 又は損失 (△)	1,168	524	△10	△45	△1	1,634	△41	1,592	△513	1,079

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△513百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△517百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。